【中・高・中等】

【保健体育科学習指導案様式】　　単元の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインします。

ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられます。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はありません。

第○学年○組　保健体育科（体育分野・科目「体育」）学習指導案

指導者　○○　○○

体つくり運動は（知識及び運動）

１　単元名

２　単元の目標

(1) ～することができるようにする。 （知識及び技能）

(2) ～することができるようにする。 （思考力、判断力、表現力等）

(3) ～することができるようにする。 （学びに向かう力、人間性等）

３　単元について

(1)教材観･･･育成する資質や能力を明確に示す。

(2)生徒の実態･･･単元に関わる実態調査の結果等を表やグラフで示すとよい。

(3)指導観･･･生徒の実態を踏まえ、単元の目標を達成するための具体的な手立てを示す。

(1) 教材観

(2) 生徒の実態

(3) 指導観

４　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| ○知識  ①  ②  ③  ～している。 | ○技能  ①  ②  ③  ～できる。 | ①  ②  ～している。 | ①  ②  ～しようとしている。  ～している。  （健康・安全） |

単元の評価規準は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」（平成29年７月）・「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説保健体育編」（平成30年７月）文部科学省、及び「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」中学校　保健体育（令和２年３月）・高等学校　保健体育（令和３年８月） 文部科学省 国立教育政策研究所を参考にして作成する。

５　指導と評価の計画（10時間扱い）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６（本時） | ７ | ８ | ９ | 10 |
| 学　　習　　の　　流　　れ | 0  10  20  30  40  50 | オリエンテーション  習得技術の確認  学習の進め方  知識の学習  ワークシートの活用 | ○健康観察　○本時のねらいと内容の確認　○準備運動 | | | | | | | | |
|  | |  | |  |  |  | | 振り返りとまとめ  単元のまとめ  片付け |
|  | |  | |
| 「記述」は、学習カードやICTを利用した見取りを含む。  「観察」は、ICTを利用した見取りを含む。 | |  |  |
| ○整理運動　○学習のまとめと本時の振り返り　○次時の確認　○健康観察 | | | | | | | |
| 評　価　の　機　会 | 知 | ①記述 |  | ②記述 |  |  |  |  |  | ③記述 | 総　括　的　評　価 |
| 技 |  | ①観察 |  |  | ②観察 |  |  |  | ③記述 |
| 思 |  |  |  | ①記述 |  | ②観察・記述 |  | ③記述 |  |
| 態 |  |  | ①観察 |  |  |  |  | ②観察 |  |

記録に残す評価を実施しない時間を設定することもできる。（他の時間に評価規準の内容が全て計画されていること）

２つの観点を評価する場合は、共に「観察」による評価を組み合わせない。

１時間に評価する観点は２つまでとする。（１時間に１つ評価することが望ましい）

生徒の学習状況を最終確認する。

生徒の学習状況を最終確認する。

知識・技能は、評価する内容と指導する内容を明確にするため，便宜上、別々に表記している。

６　本時の展開（６／10時間）

指導と評価の計画から、本時の指導を決める。単元の目標から、より具体的に本時のねらいをおろしてくる。

(1) 本時の目標

〇　～することができるようにする。　　　　　　　　　　　　（思考力、判断力、表現力等）

(2) 準備・資料

(3) 展　開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容と学習活動 | 教師の指導・支援（◆評価規準と方法） |
| 導入  ○分 | １    本時の学習課題について、生徒に提示する言葉で記入する。  例：ボールをゴール前に運ぶためには、どのようなパスを出したらよいだろうか。  ２  ３  個別の対応が必要な生徒への指導の手立てや対応策を示す。  ４  ５ | ・  本時の目標、本時のめあて及び評価規準が一致するようにする。  ただし、技能や主体的に学習に取り組む態度のように、習得や活用の段階等を踏まえ，評価をするまで一定期間を置くなど、指導と評価の時期をずらして行う場合も考えられる。その場合は、必ずしも一致するものではないことに留意する。  本時の目標，本時の学習課題及び評価規準が合致するようにする。  ・～の生徒に対しては、～することで、～ができるようにする。  ※生徒のつまずきを予想し、具体的な指導の手立て  や対応策を記述する。  ◆　～している。  　　　　　（思考・判断・表現）  　　　　　　　　　　　【観察、記述】  （評価の観点）、【評価方法】を示す。 |
| 展  開  ○  分 |
| まとめ○分 |